



たかが二歩、されど二歩

「たかが一歩、されど一歩」という言葉がある。一歩は歩幅にして50cm前後であるが、この一歩が町の未来にとって大きな役割を果たす。一歩にも「一歩も遅れず」「一歩前へ踏み出す」「一歩先を行く」がある。また「一歩も譲らず」もあるけれども、硬直化した考え方は全くない。

東京での話しである。地下鉄から降り、地上へ向かって歩くが、次から次へと抜かされていく。自分では普段（若かりし頃）と変わらない速度で歩いているつもりだが、「一歩も遅れず」について行けない。歩くのは一歩や数歩程度遅れても構わないが、住民サービスは「一歩も遅れず」でなければならぬ。そのためには「一歩前へ踏み出す」チャレンジ精神と行動が必要である。本町では職員が元気に一歩前へ踏み出している。「3つのない」―「予算がない」「他の町でやってない」「前例がない」の殻を破っているからである。住民にとってプラスになるこ

とを実現するためには、「3つのない」から一歩前へ踏み出すチャレンジ精神が必要である。一歩踏み出すと、中々後戻りはできない。これが職員のエネルギーの源になっていると考えている。今回の新型コロナ対策でも、先んじて様々な展開をできたのも常に一歩前を見ていたからだと思う。

2017（平成29）年、国は文化芸術基本法を改正し、文化芸術を国づくりや地域づくりの中心に据えた。この中には様々な文化、教育施策が展開されるように具体的なものが明記されているが、大半が既に東川町では「一歩先を行く」ように取り進められている。これは1985（昭和60）年に始まる「写真の町宣言」からで、先人の決断力と実行力があつたからである。そこには「一歩も遅れず」「一歩前へ踏み出す」「一歩先を行く」ものが見えてくる。「たかが一歩、されど一歩」。一歩の重要性を先人に学ぶとともに、先人へ感謝あるのみである。

旅のつばくろ（一般書） 沢木幸太郎／著 新潮社／刊



「思い起こせば私が初めて1人だけの大旅行をしたのが16歳のときの東北一周旅行だった…。あの頃のようにもっと自由に、気ままに日本を歩いてみたい。この国を、この土地を、ただ歩きたいから歩いてみようか。つばめのように軽やかに。人生も旅も――。」旅のバイブル『深夜特急』で世界を縦横無尽に歩いた沢木耕太郎、初の国内旅エッセイ。

翔んで埼玉 (DVD) 販売元: 東映ビデオ



その昔、埼玉県民は東京都民からそれはそれはひどい迫害を受けていた。通行手形がないと東京には入れず強制送還。自分たちを解放してくれる救世主の出現を願う日々…。原作に「埼玉の対抗組織・千葉」や「高みの見物・神奈川」ほか関東圏一帯を巻き込んだ大スペクタクルが加えられ、必要以上にスケールアップした【愛と革命の物語】誕生!(106分)

貸し出し図書 ビデオ紹介

せんとぴゅあⅡ ほんの森

【貸し出し】
 図書、紙芝居、雑誌は一人合計20点まで(15日間)
 DVDは一人2本まで(8日間)

★本、DVDの蔵書リクエストもお受けしています

わたしはみんなのおばあちゃん (絵本) ジョナサン・トゥイト／文 カレン・ルイス／絵 岩波書店／刊



「わたしは、さかなのおばあちゃん。からだをくねくねさせて、およぎます。きみもくねくねできるかな？」
 大むかしの魚やほ乳類など、いろいろな種類のおばあちゃんが語りかけます。じつは、みんなわたしたちヒトの祖先です。おばあちゃんたちの動きをまねしながら、生きものの進化をたどってみよう！大人のための解説付き。